

第1号議案

令和4年度事業報告及び収支決算について

1 令和4年度事業報告について

第39事業年度 $\left(\begin{array}{l} \text{自 令和4年4月1日} \\ \text{至 令和5年3月31日} \end{array} \right)$

当財団は、中小企業の総合的支援機関として、新産業創出や経営革新への支援、産業技術の高度化や科学技術の振興、産学官の共同研究開発への支援などに取り組んでいる。

令和4年度は、一昨年から引き続き設置している新型コロナウイルス関連経営相談窓口において、新たに、ウクライナ情勢の悪化や円安の進行などによる原材料価格の高騰のため多大な影響を受けている県内中小企業等の相談対応を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策としての行動制限緩和を受け、3年ぶりに対面式の食品商談会を開催したほか、全国から発注企業を招き、ものづくり関連の商談会を開催した。

※各事業右記載の金額は、経常費用の額である。

公益目的事業

Ⅰ 新産業の創出や地域産業の革新、地域企業の経営基盤強化のための相談・指導、情報提供、助成及び資金貸付等の事業

決算額

1 新事業創出等支援事業(県補他)

17,405 千円

県内中小企業等の新事業の創出や経営革新などを積極的に推進するため、本県の中核的支援機関として各支援機関と連携を取りながら、研究開発から事業化、販路開拓に至るまでの総合的な支援を実施した。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や物価高騰等により、経営面で多大な影響を受けている県内中小企業等を強力に支援するため、相談窓口を設置し、専門家による事業計画に関する助言や国・県・市等多岐に亘る支援施策の一元的な案内など、事業者の実態に応じた支援を実施した。

相談事業	専門家による窓口相談や巡回相談などにより、県内中小企業等の経営力の向上（経営革新・農商工連携・地域資源活用・販路開拓・経営改善等）、創業・再チャレンジ、事業承継等の課題に対する指導助言を行うとともに、企業ニーズの把握や事業化シーズの発掘等に努めた。 なお、「認定支援機関」として、ものづくり中小企業・小規模事業者が実施する試作品の開発や設備投資等の補助金申請に係る事業計画書作成を支援した。	928 件
支援体制整備事業	地域の支援機関と連携を図るため、産業支援機関連絡会議を開催した。（令和4年5月24日）	1 回
経営支援強化事業	香川県から委託を受け「新型コロナウイルス関連経営相談窓口」を設置し、中小企業診断士等の専門家が県内事業者に向け、国・県・市町の施策の活用方法等に関する助言及び経営相談を行った。	1,032 件

2 新規創業・創業後支援事業（県補）

1,804 千円

（1）創業支援塾事業

県内での創業を目指す者を対象に、創業に当たっての実務ポイントを一体的かつ体系的に学習ができ、かつ具体的なビジネスプランが策定できるよう、実践的な創業支援塾を開講することにより、創業の促進を図った。

○ かがわ創業塾

日時	受講者
令和4年7月22日～9月2日 （全5回）13時～17時	27名（うち全課程修了者26名）

（2）創業後個別フォロー・創業事例発表会開催事業

創業後間もない方を対象に、個別課題に対する相談窓口を設け、廃業の抑止等につなげた。

○ 創業後フォロー（専門家配置事業）

専門家：笠居 昭司、川上 実、筒井 恵

開催月	件数	時間	開催月	件数	時間
4月	—	—	10月	13	21
5月	—	—	11月	13	21
6月	5	7	12月	14	21
7月	14	21	1月	14	21
8月	15	21	2月	5	7
9月	13	21	3月	5	7

総数：111 件、168 時間

3 起業等スタートアップ支援事業（県補）

20,254 千円

県内での社会的事業における効果的な起業等を促進し、地域の諸課題の解決を通じた地域活力の向上を図るため、地域に蓄積された強みなどの資源を活用して県内で起業等を行う者に対して、その起業等に要する経費の一部を補助した。

類型	対象事業	補助金上限額	申請／採択件数
地域課題 解決型	地域活性化関連、子育て支援、健康関連、買物弱者支援、まちづくりの推進などの社会的事業分野で、地域の課題の解決に資する事業	200 万円 (補助率 1/2 以内)	36 件／11 件

4 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業（よろず支援拠点）（国委）

85,748 千円

県内中小企業等への支援体制を強化するため、「香川県よろず支援拠点」に、チーフコーディネーター 1 名とサブチーフコーディネーター 2 名、コーディネーター 17 名を配置し、他の支援機関とも連携しつつ、総合的・先進的経営アドバイス、個別事案に最適な支援チームの編成などによる中小企業支援事業を国から委託を受け実施した。

また、県内中小企業等の経営者等を対象に、セミナーを開催した。

○ 相談対応件数 令和 4 年度 5,870 件（令和 3 年度 5,480 件）

○ よろずセミナー実施回数 令和 4 年度 52 回（「創業セミナー」全 5 回を含む。）（令和 3 年度 35 回）

5 農業の 6 次産業化等促進事業（県委）

2,194 千円

県から委託を受け、かがわ農山漁村発イノベーションサポートセンターを設置し、経営改善に意欲的な農山漁村発イノベーションに取り組む事業者等に対して、登録する地域プランナー等を派遣することにより、経営改善に取り組む上での様々な課題の解決のために迅速かつ弾力的に支援を行った。

(1) かがわ農山漁村発イノベーションサポートセンターの設置

(2) 地域プランナーの委嘱 4 名

(3) 経営改善計画支援対象者数 8 事業者

支援対象者	所在地	支援内容
(株)伊吹島プロジェクト	観音寺市	「釜揚げいりこ」の販路拡大
五郷里づくりの会	観音寺市	「里山歩き」と「ピザ焼き体験」による地域活性化
(株)蒼のダイヤ	仲多度郡多度津町	オリーブオイル等の販路拡大
(有)かがわ木材加工センター	高松市	J A S 認定桧材の販路開拓
(株)荒川農園	高松市	自社生産した農産物（カボチャ等）を活用した加工品開発
屋形崎夕陽の丘継承会	小豆郡土庄町	「夕陽の丘」の景観を活用した地域活性化
野の鳥工房	小豆郡土庄町	小豆島産木材の活用
白川農場(株) (旧 (有)三豊エコファーム)	三豊市	自社生産した農産物（ニンニク）を活用した加工品開発

(4) 農山漁村発イノベーション事業相談 相談件数 96 件

(5) 人材育成研修会の開催状況

○参加事業者：延べ 45 名

○参集範囲：農林漁業者、食品製造業者、金融機関、商工会、行政等

	開催日	開催場所	テ ー マ	講 師	受講者数
第 1 回	令和 4 年 10 月 27 日	香川産業 頭脳化セ ンタービ ル 2 階一般 研修室	HACCP の考 え方を取り 入れた衛生 管理	香川県健康福祉部生活衛生課 主任 藤井 周司 氏	19 名
第 2 回	令和 4 年 11 月 14 日		商品にあっ たパッケー ジデザイン と使用目的 別の商品撮 影	株式会社ジェイアイティ 代表取締役 三宅 孝治 氏	11 名
第 3 回	令和 4 年 12 月 7 日		観光客が求 める商品	高松空港株式会社空港営業部 シニアマネージャー 藤田 聡史 氏 グループリーダー 正本 早枝子 氏 一般財団法人かがわ県産品振興 機構 マネージャー 安西 正則 氏	15 名

6 知財総合支援窓口運営事業（国委）

22,540 千円

「知財総合支援窓口」を設置し、中小企業等が抱える知的財産に関する悩みや課題をワンストップで解決できる支援を行うとともに、中小企業等が企業経営の中でノウハウも含めた知的財産活動についてアイデア段階から事業展開まで一貫した支援を行ったほか、知的財産セミナー等の開催や企業訪問などにより知的財産の重要性等の普及啓発を行った。

(1) 相談支援実績

項 目	実 績
支援件数	2,281 件
うち新規件数	176 件
周知件数	380 件
連携件数	296 件
関係機関と連携した臨時窓口回数	117 回

(2) 知的財産セミナーの開催状況

① 知的財産基本セミナー

	開催日	開催場所	テーマ	講 師	受講者数
第1回	令和5年 2月1日	ネクスト香川 3F 会議室	これだけは知っておきたい 著作権のきほんのき	株式会社ループホール 代表取締役 城田晴栄 氏	20 名
第2回	令和5年 2月7日		事例で読み解く「武器」にも「リスク」にもなる知財の話	クレッシェンド特許総合事務所 館 佳耶 氏	20 名
第3回	令和5年 2月17日	e-とぴあ・かがわ ルームA	J-PlatPat を含めた 知財情報の活用	INPIT 窓口機能強化事務局 統括 中 泰広 氏	13 名
第4回	令和5年 2月20日	ネクスト香川 3F 会議室	これだけは押さえておきたい 商標・意匠の実務ポイント	特許業務法人エルア商標意匠事務所 代表社員 松本尚子 氏	23 名

② 海外展開支援セミナー

開催日	開催場所	主 催	テーマ	講 師	受講者数
令和4年 11月29日	頭脳化センタービル2F 一般研修室	ジェトロ香川 香川県 かがわ産業支援財団 香川県知財総合支援窓口	越境 E C と知的 財産権保護	INPIT 久永 道夫 氏	13 名

7 知的財産活性化事業（県補）

7,586 千円

県内企業等の知的財産の創造・保護を促進するため、「香川県知的所有権センター」を設置・運営し、配置した知的財産権の活用を図る特許流通コーディネーターが、知的財産に関する情報収集・提供を行うとともに、知的財産の活用を促進するため、県内企業等への相談や訪問相談を行った。

県内中小企業等が海外進出にあたって、海外で冒認出願された商標への異議申立てに要する費用の一部を補助する海外冒認商標係争支援事業を行った。

項 目	内 容	実 績
来訪者相談件数	特許流通に関する相談件数	207 件
訪問企業数	特許流通のために訪問した企業数	112 社

8 知的財産活用促進事業（県補）

6,268 千円

県内企業等の知的財産の活用による競争力強化を促進するため、「香川県知的所有権センター」が、知的財産を活用した経営や新たな事業展開に取り組む県内企業等の経営者等を対象に、日本弁理士会と連携して、「かがわ知財経営塾」をワークショップ形式で3回開催するなど、きめ細かな支援を行うとともに、大企業等が保有する開放特許の活用を通じて、県内企業の新商品開発や新たな事業展開を促進するため、「知財マッチング in かがわ 2022」を開催し、大企業等と県内企業との知財マッチングの機会を提供した。

（1）かがわ知財経営塾

	開催日	開催場所	テーマ	講師	受講者数
第1回	令和4年 10月5日	香川産業 頭脳化セ ンタービ ル2F 一般研修 室	意匠、商標を中心にケ ーススタディで学ぶ	洲崎国際特許事務所 洲崎竜弥 氏	19 名
第2回	令和4年 10月12日		営業秘密、共同開発時 の契約問題をケース スタディで学ぶ	松島国際特許事務所 松島 理 氏	16 名
第3回	令和4年 10月20日		IP ランドスケープと は何か、中小企業でも 役立つ活用価値につ いて	椿特許事務所 椿 豊 氏	13 名

（2）知財マッチング

① 知財マッチング in かがわ 2022

知財マッチング in かがわ 2022	日 時：令和4年11月16日～12月20日（期間外も随時実施） 場 所：香川産業頭脳化センタービル2F 一般研修室他 開催方法：個別面談及び Web 面談 個別面談 面談企業・件数：大企業等 16 社、県内企業 20 社 面談件数 42 件 シーズ説明会（11月16日開催） 説明会方法：会場にて対面説明 シーズ説明：大企業 1 社 参加企業：県内企業 14 社
------------------------	--

9 中小企業等外国出願支援事業（国補）

3,513 千円

中小企業等における戦略的な外国への特許出願等を促進するため、県内中小企業等を対象に、令和4年6月～11月の間に3回募集し、3社、5件（特許4件、商標1件）に対して、外国への特許出願等に要する費用の一部を助成した。

10 プロフェッショナル人材戦略拠点事業（県委）

33,629 千円

県から委託を受け、プロフェッショナル人材（新たな商品、サービスの開発等、企業の成長戦略を具現化していく人材）の地方還流を促すために設置した「プロフェッショナル人材戦略拠点」において、戦略マネージャー1名と複数のサブマネージャー及びアシスタントを配置し、地域の金融機関等と連携しつつ、県内中堅・中小企業等におけるプロフェッショナル人材のニーズを把握し、企業の成長戦略を支援した。また、副業・兼業等の多様な人材の活用促進に取り組むとともに、啓発セミナーの開催等を行った。

○プロフェッショナル人材成約件数 143 件（うち兼業・副業人材の成約 10 件）
（令和3年度成約件数 104 件）

11 経済研究情報事業（県補他）

8,881 千円

インターネットや情報誌等を活用した産業情報の提供を行ったほか、県内中小企業等の情報化を支援するための情報化相談事業、人材育成のための新入社員研修・若手社員フォローアップ研修を実施した。

また、独創的なビジネスプランで新規創業しようとする者や独自のビジネスモデルを構築した者を表彰した。

（1）経済研究情報提供事業

県内企業等の経営資源の充実を図るため、経営・産業関連情報の収集を行い、財団の支援施策の情報と併せて、ホームページやメールマガジン、情報誌のほか、新たに開設したFacebook公式ページも活用しながら、タイムリーで効果的な情報発信を行った。また、財団ネットワーク環境を更新し、利便性向上やセキュリティ強化等の対策を行った。

情 報 提 供 媒 体 等	回 数 等
財団ホームページ、Facebook、メールマガジンによる情報発信	常時
情報誌「かがわ産業情報 21」の発行	4 回
ビジネス香川（かがわのエンジン・BK ラジオ）による財団支援内容の紹介	かがわのエンジン：4 回 BK ラジオ：20 秒 CM/年 120 回

(2) かがわ型新ビジネスモデル奨励事業

創造的な技術や商品、サービスなどを新規に開発し、新たな顧客や付加価値を創造しようとする、独創的なビジネスプランを募集・表彰した。

【かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ 2022】

- ・応募総数 22 件
- ・特典：最大 200 万円の助成金（別途審査あり）、インキュベート施設の無料提供、特別低利融資等

	ビジネスプラン	事業者
最優秀賞	着物ビギナーもベテランも！綺麗×5分×本格着物の海外展開 『GEISHA TOKYO KIMONO スタイル』	藤澤 幸子
優 秀 賞	富裕層・準富裕層の外国人向け「日本一コンパクトな地方都市で暮らし体験&起業支援 in Kagawa」	ワットカナッド・ウィラポーン
優 秀 賞	緊急通報装置「ハッピーコール」島モデル事業	北村 麻理映

(3) 情報化基盤整備促進事業

県内中小企業等の情報化に向けた取り組みを支援するため、情報化に関する相談事業を実施した。

内 容	回 数 等
情報化相談事業	31 件

(4) 講習会開催事業

県内企業等の人材育成を支援するため、新入社員研修及び若手社員フォローアップ研修を実施した。

講 習 会 名	開 催 日	参加人数
新入社員研修	令和4年4月4日～5日	53 名
若手社員フォローアップ研修	令和4年11月22日	17 名

12 中小企業後継者育成事業

2,335 千円

県内中小企業の経営者や後継者の育成を目的に、中小企業大学校が実施する各種研修や香川大学大学院地域マネジメント研究科に派遣する際に必要な経費の一部を助成した。

区 分	件数等	金 額
中小企業大学校派遣研修事業	13 件	898 千円
香川大学大学院地域マネジメント研究科派遣研修事業	3 件	804 千円

13 設備資金貸付債権管理事業

75 千円

過年度貸付事業に係る県借入金返済を行った。

14 国助成設備貸与債権管理事業

17,219 千円

過年度貸与（割賦販売及びリース）の回収業務等を行った。

II 産業技術の高度化及び科学技術の振興のための支援事業

1 高度技術開発振興事業

10,300 千円

(1) 研修会等開催支援事業

県内産業の技術の高度化を図るため、学術研究支援や人材・能力育成支援を実施した。
学会助成については、香川大学から1件（国内学会）の申請があり、学会開催に要する経費を助成した。

また、科学体験フェスティバルは3年ぶりの開催となり（過去2年間は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響により中止）、分担金の拠出や当日の運営支援により、開催を支援した。

区 分	開催回数	参加者数
学術研究会の開催支援 ・香川大学 農学部（日本農芸化学会中四国支部大会）	1 回	188 名
第 30 回かがわけん科学体験フェスティバル （主催：かがわけん科学体験フェスティバル実行委員会等）	1 回	2,856 名

※学術研究会の参加者数には、オンラインによる参加者を含む。

(2) 商品化技術テーマ調査事業

県内企業等が、商品化のための技術テーマを大学・公設試等と連携して調査・開発するために必要な調査研究費等を助成した。

令和4年度採択分【新規3件（うち1件廃止）、助成額2,000千円（廃止分を除いた額）】

事業者	テーマ	大学・公設試等
株式会社佐竹技研（廃止）	ドローンによる設備劣化異常診断支援装置の開発調査	香川県産業技術センター
株式会社シーマイクロ	対象波長の選択が可能な5バンドマルチスペクトルラインスキャンカメラの開発	香川県産業技術センター
株式会社フジコー	高周波電磁波ノイズ吸収シートの開発	香川県産業技術センター

（令和3年度採択分3件、2,861千円）

(3) 芦原研究支援事業

本県出身の故芦原義重氏（関西電力㈱名誉会長、香川県名誉県民）からの寄附金による基金を活用して創設した芦原科学賞により、県内産業の技術の高度化及び産業振興に寄与するため、自然科学系分野において優秀な研究成果をあげた研究グループや個人の顕彰（大賞、功労賞）並びに優秀な成果をあげることが期待できる研究グループや個人の顕彰（奨励賞）を行った。

区 分		内 容 等
第 30 回 芦原科学賞	大賞 (賞状・楯・ 賞金 200 万 円)	受賞者：四国計測工業株式会社 平尾 成良 氏、村尾 信夫 氏、大野 美加 氏、 横山 卓幸 氏、横田 直人 氏 テーマ：電力の安定供給と再生可能エネルギー電源導入拡大に貢献する再エネ出力制御システム(需給制御システム)の開発
	功労賞 (賞状・楯・ 賞金 100 万 円)	受賞者：三菱電機株式会社 受配電システム製作所 宮内 俊彦 氏、安原 裕登 氏 三菱電機エンジニアリング株式会社 竹内 紀夫 氏 テーマ：スマート保安実現に向けたモータの劣化診断機能の開発
	奨励賞 (賞状・楯・ 賞金 50 万 円)	受賞者：ケイ・タス株式会社 北野 光邦 氏 テーマ：迅速な義肢提供と義肢装具士業務の省力・効率化に向けた B T O モバイルシステムの開発

(4) 地域技術事業化推進事業

① 香川大学大学院地域マネジメント研究科との連携

地域を担う若手人材を育成することを目的に、企業経営等の第一線で活躍している講師による講座を香川大学大学院地域マネジメント研究科（MBA）に提供した。

名 称	内 容 等
提供講座 「地域の中小企業と 経済活性化」	○開催日時 令和 4 年 10 月 4 日～令和 5 年 2 月 7 日 18 時 20 分～19 時 50 分（毎週火曜日、全 15 回） ○開催場所 香川大学総合教育棟講義室 ○開催内容 提供講座の開設（中小企業経営者等による全 15 回の講義） ○参加者数 学生、一般聴講者等合わせ延べ 420 名が参加

2 債務保証債権管理事業等

1 千円

(1) 債務保証

研究開発型企業が新技術・新製品の開発及び事業化を行うに際し必要とする資金の円滑な借入れを支援するため、無担保の債務保証を行う事業であり、平成 28 年度までの債務保証事業において代位弁済を執行した案件で、求償権を有する案件 2 件の継続管理を行った。

3 科学技術振興事業（国補）

47,149 千円

（1）成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）（※）

※令和 4 年度採択事業から事業名変更。旧事業名：戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）

特定ものづくり基盤技術（バイオ、情報処理、精密加工、機械制御等 12 分野）及び IoT、AI 等の先端技術を活用した高度なサービスに関する研究開発や試作品開発等の取組みを支援するため、事業管理機関として令和 2 年度採択事業 1 件、令和 4 年度第 2 回公募採択事業 1 件について、経済産業省から補助金を受けて進捗管理等を行った。

○令和 2 年度採択事業（研究開発 3 年目の事業）

テーマ	期間	研究機関	補助金額
ヒト皮膚マイクロバイオームのバランス維持による悪玉菌の活性抑制型皮膚用剤の高精度生産技術の開発	令和 2 年 8 月～ 令和 5 年 3 月	(株)伏見製薬所 九州大学 香川大学	19,343 千円 (令和 4 年度分)

○令和 4 年度第 2 回公募採択事業（研究開発 1 年目の事業）

テーマ	期間	研究機関	補助金額
海底・地中電力ケーブル牽引用の低摩耗型複合スーパー繊維ロープの開発	令和 4 年 11 月～ 令和 7 年 3 月	高木綱業(株) 香川県産業技術 センター	26,383 千円 (令和 4 年度分)

4 地域共同研究開発事業（県補他）

63,077 千円

県内企業等と連携して、研究開発事業（開発可能性調査研究型プロジェクト、技術指導実験、県内産業育成支援のための調査研究、企業訪問等による技術指導、機関誌等による研究成果等の情報提供）に取り組んだ。

また、県内の食品産業を支援するため「かがわ機能性食品等開発研究会」及び「かがわ冷凍食品研究フォーラム」によるシンポジウムを開催するとともに、財団に設置している新機能性表示食品開発相談センターによる機能性表示食品制度に関する相談・指導を実施した。

さらに、財団が保有する研究設備や機器の一般開放等により、県内企業等の事業化・商品化の支援を行った。

（1）研究開発事業

① 企業支援研究事業

食の安全・安心、環境保全、CNF、電池電極など社会的課題・ニーズを踏まえたテーマを中心に、共同開発研究、開発可能性調査研究、技術指導実験を推進した。

種別	内容	令和 4 年度実施件数
開発可能性調査研究 (F S 研究)	県内企業等が新たな研究開発を実施する前にその可能性を調査するプロジェクト	1 件 (県内 1 企業)
技術指導実験	本格研究に進む前の技術指導に伴うアタリ実験	1 件

② 調査研究事業

県内産業育成支援のため、R I S Tかがわが保有する技術を活用した調査研究を実施した。

事業名		内容・結果
超臨界流体技術応用研究	1 超臨界技術によるプラスチック材料への機能付与に関する研究 (IV) ーセルロース混合ポリエチレンの強度に及ぼす混練条件の影響ー	超臨界炭酸ガス処理により得られたアセチル化 CMF のフィルムや部材への利用をめざしている。今年度は、環境への樹脂の流出削減をめざし、CMF による樹脂の代替を検討した。ポリエチレン (PE) の30%を CMF で代替した材料は、PE のみと比べて弾性率が1.4倍大きくなった。PE の使用量を CMF 代替で削減するとともに、強度が高まることを確認した。なお、複数の県内企業からは、CMF の混合率の更なる増加 (50%を超える) と、CMF 混合材料の物性のばらつきの削減が課題であるとの意見を得た。次年度は、51%代替を検討する。
	2 加圧熱水反応・抽出による食品成分の抽出利用技術に関する研究 ーオリーブ圧搾滓からの総ポリフェノール、ヒドロキシチロソール、及びチロソールの抽出ー	オリーブ圧搾滓からの抗酸化性物質の加圧熱水抽出処理を行った。今年度は、室温から280℃迄の範囲で処理した結果、200℃を超えると、総ポリフェノール含有量が増加した。今後は、処理条件の更なる最適化を検討する。
マイクロ波 (MW) 技術応用研究	MW 照射処理による水産加工品の高品質化製品開発支援	(1) MW照射による焼き魚風食品の開発 研究を提案してきた県内企業と共同で、調味液塗布を行った生魚切り身のMW加熱による焼き魚調理技術を開発している。魚切り身には、MW調理によって魚皮に十分な焼き目がつき、調理後もジューシーさを保つことができている。容器には、MW調理時に切り身の破裂による汚染防止のための形状・材質を備えたものを開発している。今後も、商品化に向けた技術支援を行っていく。また、容器について、共同開発している県内企業との共同特許出願を検討中である。
		(2) MW照射処理と既存技術を融合した魚骨脆弱化製品の開発 当該製品は、魚骨による危害の防止とカルシウム摂取食品として付加価値化をめざしている。本研究では、イワシ魚骨を対象サンプルとし、酸 (酢酸、クエン酸、および乳酸) 浸漬処理後の冷凍状態での MW 照射処理による脆弱化を試みた。MW 照射試料では、機器測定では若干の脆弱化が認められたが、素手による官能検査では脆弱化が認められなかった。 次年度は、イワシ等のW照射による加熱調理を行い、脆弱化を検討する。

③ 産業財産権

令和4年度では2件が出願審査請求中であるとともに、実施見込みのない2件の特許放棄を行い、登録特許は3件となった。

これまでの特許出願等の状況は次のとおりである。

①出願件数	②特許登録数	③権利放棄数	登録特許保有数(②-③)
103	38 件 (0)	35 件 (2)	3 件

※ () 内は令和4年度の件数

④ 研究成果の情報提供

ア 部外発表

発表会名：令和4年度香川県産業技術センター研究成果発表会

発表日：令和4年6月10日

場所：香川県産業技術センター（高松市郷東町 587-1）

発表者：2名（中西主席研究員、朝日主席研究員）

イ 研究報告等の発行

令和3年度地域共同研究部年報（令和4年6月30日）

地域共同研究部ニュースレター63号（令和4年11月30日）

⑤ 講師派遣

研究会名：繊維学会超臨界流体研究委員会

日時：令和5年3月7日

場所：大阪成蹊大学・短期大学（大阪市大阪市東淀川区）

講演テーマ：超臨界 CO₂ による材料への機能性付与

講演者：中西主席研究員

（2）機能性食品開発支援事業

① かがわ機能性食品等開発研究会による支援

かがわ機能性食品等開発研究会の事業として、第10回シンポジウムを開催し、機能性食品等に係る県内企業等の研究開発や商品開発の取組みを支援した。

区 分	内容等
かがわ機能性食品等 開発研究会 第10回シンポジウム	・開催日時 令和4年9月7日 13:30～16:20 ・開催場所 香川産業頭脳化センター（2階）一般研修室 ・講演 『講演1』 【演題】身近な農水産資源を活用した食品機能の開発研究 【講師】国立大学法人 香川大学 農学部 教授 田村 啓敏 氏 『講演2』 【演題】アルロース（プシコース）の食品への利用および機能性表示食品の開発 【講師】松谷化学工業株式会社 研究所第一部 機能性素材グループ 主任研究員 北川 真知子 氏 『事例発表①』 【演題】おなかの調子を整えるのり佃煮 【発表者】安田食品工業株式会社 取締役専務 藤本 伸一 氏 『事例発表②』 【演題】「ギャバ入り減塩しょうゆ豆」の開発 【発表者】大西食品株式会社 代表取締役社長 細谷 誠 氏 ・参加者数 48名

② 機能性表示食品届出支援

平成 27 年 6 月に設置した新機能性表示食品開発相談センターでは、消費者庁への機能性表示食品届出について、令和 4 年度では届出書類作成等支援業務を 12 社 14 件受託し、5 件が届け出中である。また、機能性表示食品開発・届出に関する相談業務（令和 4 年度相談件数：393 件）も行っている。

令和 3 年度に届出支援した 8 件は、令和 4 年度までに 6 件の届出が完了し、5 商品が商品化された。これにより、県内企業等の届出商品は今回の商品を含めて 36 件となり、うち 22 件は当財団が支援した。

（3）冷凍食品産業支援事業

かがわ冷凍食品研究フォーラムの事業として、第 10 回シンポジウムを開催し、県内の冷凍食品を製造する企業等の研究開発や商品開発の取り組みを支援した。

区 分	内容等
かがわ冷凍食品研究 フォーラム 第 10 回シンポジウム	・開催日時 令和 4 年 11 月 17 日 13：30～16：30 ・開催場所 三豊市文化会館マリンウェーブ（2 階）会議室 ・講演 【演 題】ポストコロナの企業価値を高める競争優位戦略 —高次機能及び栄養科学の視点から— 【講 師】香川短期大学 名誉教授 竹安 宏匡 氏 ・情報提供 【演 題】省エネの進め方と省エネ診断事例 【発表者】一般財団法人省エネルギーセンター エネルギー使用合理化専門員 松木 直哉 氏 ・事例発表 【演 題】ローカルフードバリューチェーンをふたたび 【発表者】株式会社キョーワ 代表取締役 加地 正人 氏 ・参加者数 47 名

（4）商品化・事業化促進事業

研究開発・技術開発終了後、実用化の段階にある県内企業等に対して、研究者による技術移転とともに、食品加工の専門家によるサポートを実施した。

（5）研究設備・機器の一般開放

高温高压流体技術やマイクロ波技術に関する装置、物性測定装置及び分析装置などの研究機器を県内企業等に開放した。（令和 4 年度利用件数：49 件）

（6）機器利用講習会の開催

財団が保有し、一般開放をしている技術開発関係装置、構造観察装置及び分析装置の一層の利用促進を図るため、機器利用講習会を開催している。

令和 3 年度更新した『フーリエ変換赤外分光光度計』についての機器利用講習会（座学及び実習）を令和 4 年 7 月 1 日に開催した。

5 先端技術成果実用化支援事業（県補）

1,087 千円

産学官連携で取り組んできた糖質バイオの研究・開発の成果を、引き続き県内企業等に普及させるため、県の補助を受け、企業や研究者との情報交換等を図るほか、産学官の関係者が連携による広域的な人的ネットワークを形成するために、かがわ糖質バイオフォーラムを運営した。また、希少糖関連事業の円滑な推進を図るために、専門家をアドバイザーとして配置し、香川県希少糖戦略会議の生産・健康・医療部会の運営に関与し調整を図った。

区 分	内 容
かがわ糖質バイオフォーラムの運営	かがわ糖質バイオフォーラムシンポジウムを開催し、研究開発の進捗状況を発表するほか、産学官の研究者の積極的な意見交換を行うことで、企業と大学研究者などとの人的ネットワークの形成・拡大を図った。 ○かがわ糖質バイオフォーラム第 14 回シンポジウム ・開催日時 令和 4 年 11 月 4 日 13 時～16 時 20 分 ・開催場所 かがわ国際会議場 ・開催内容 - 第 1 部 基調講演「メタボリックシンドロームの正しい理解と発症機序におけるアディポネクチンの意義」 一般社団法人日本肥満症予防協会 理事長 一般財団法人住友病院名誉院長・最高顧問 松澤 佑次 氏 - 第 2 部 ポスター発表 希少糖をはじめとする糖質バイオ分野に関する研究成果や商品開発事例の発表・意見交換 ・参加者数 産学官関係者 77 名 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和 4 年 2 月 1 日から延期開催
香川県希少糖戦略会議 生産・健康・医療部会の調整・開催等	「かがわ希少糖ホワイトバレー」プロジェクト、大学等での研究状況、希少糖の PR、希少糖関連商品の販売、希少糖の生産について情報交換、調整等を行うことにより、希少糖関連プロジェクトの推進を図った。 ＜令和 4 年度開催実績＞ ※いずれも非公開 - 第 28 回 令和 4 年 7 月 13 日 - 第 29 回 令和 5 年 1 月 17 日

6 健康関連製品開発推進事業（県補）

1,281 千円

高齢化社会の進展や健康ニーズの高まりを背景に高い成長が見込まれる健康関連産業分野での製品開発を推進するため、県補助金を活用して、薬機法の業許可等に係る相談会や健康関連製品等の大型展示会出展に対する支援を行った。

（１）薬事マネジメント相談

薬機法や医療機器の開発などに幅広い知識と豊富な経験を有する、NPO医工連携推進機構 客員研究員 吉川典子氏に薬事マネジメント相談員を委嘱し、薬事マネジメント相談会を開催した。

区 分	内 容 等
対面相談	・開催日時 令和4年10月28日 14時～16時 ・開催場所 FROM香川1階スタッフルーム ・開催内容 円滑な医療機器開発、製造等のための薬事マネジメントに関する対面方式の無料個別相談会 ・参加者数 県内中小企業等2者
Web 相談	・開催日、参加者数： （第1回）令和4年6月8日 2者 （第2回）令和4年8月10日 2者 （第3回）令和4年12月14日 2者 （第4回）令和5年2月8日 2者 ・開催内容 円滑な医療機器開発、製造等のための薬事マネジメントに関するオンライン形式の無料個別相談会

（２）展示会出展支援

県外で開催される健康関連製品の展示会の出展費用を補助することにより、県内中小企業等の健康関連産業分野への新規参入等を支援した。

区 分	出展展示会	事業者
健康関連展示会等出展支援補助金 （採択：2件）	医療と介護の総合展 東京	勇心酒造株式会社
	HOSPEX Japan 2022	香川シームレス株式会社

(3) 健康関連製品開発フォーラム等の運営

かがわ健康関連製品開発フォーラム及び微細構造デバイス研究開発フォーラムの運営に参画し、セミナー等を実施することにより県内企業等に対して各種情報提供を行うとともに、人的なネットワークの構築、産学官の連携による新事業、新産業の創出に努めた。

なお、かがわ健康関連製品開発フォーラムは令和5年3月をもって解散した。

① かがわ健康関連製品開発フォーラム

設 立：平成24年7月1日、平成25年9月1日「ICTビジネス部会」を設置

会 長：香川大学客員教授 山本 知生 氏

会員数：法人会員 95、個人会員 41、賛助会員 10 計 146

(うち ICT ビジネス部会会員 34)

区 分	内 容 等
かがわ健康関連製品開発フォーラム令和4年度セミナー	・開催日時 令和4年12月9日 13時30分～17時 ・開催場所 一般会場：香川産業頭脳化センタービル2階一般研修室 Web会場：Zoom ウェビナー ・開催内容 講演「with CORONA for DEVICE ～コロナ禍における医療福祉現場ニーズから製品化に向けて～」 特定非営利活動法人医工連携推進機構 客員研究員 吉川 典子 氏 かがわ健康関連製品開発フォーラム 会長 山本 知生 氏 ・参加者数 66名（一般会場28名、Web会場38名） ※微細構造デバイス研究開発フォーラムとの合同開催
ニーズ調査	感染症・災害対応製品や、広く医療・福祉関連製品について、現場のニーズを調査し、フォーラム会員等へ情報提供した。 <調査箇所、調査時期> ・かがわ総合リハビリテーションセンター、令和4年8月 ・川部みどり園、令和4年10月 得られたニーズの件数：14件
最終報告会	・開催日時 令和5年3月17日 14時～15時 ・開催場所 Web会場（Zoom ウェビナー） ・開催内容 成果報告 会長 山本 知生 氏

② 微細構造デバイス研究開発フォーラム

設 立：平成17年4月1日

会 長：香川大学名誉教授 大平 文和 氏

会員数：法人会員 19、個人会員 13、賛助会員 4 計 36

区 分	内 容 等
微細構造デバイス研究開発フォーラム令和4年度セミナー	・開催日時 令和4年12月9日 13時30分～17時 ・開催場所 一般会場：香川産業頭脳化センタービル2階一般研修室 Web会場：Zoom ウェビナー ・開催内容 - 講演①「MEMS技術の医用デバイスシステム応用」 広島市立大学 情報科学研究科医用情報科学専攻 教授 式田 光宏 氏 - 講演②「マルチデバイス生体計測システム HuME (Human Metrics Explorer) TM の開発と応用展開」 株式会社島津製作所基盤技術研究所 脳五感ユニット長 務中 達也 氏 ・参加者数 66名（一般会場28名、Web会場38名） ※かがわ健康関連製品開発フォーラムとの合同開催

7 感染症・災害対応製品開発促進事業（県補）

6,381千円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大や頻発する自然災害により生じた新たな需要に対応した企業の取り組みを促進するとともに、社会経済環境の変化に対応した産業の創出・育成につなげるため、県内企業等が取り組む、感染症や災害に対応した製品の開発に要する経費の一部を補助した。（採択：4件）

テーマ	事業者
非接触型トイレットペーパー自動供給システムの開発	株式会社ORC JAPAN
大腸内視鏡検査手技下の各種ウイルス等感染防御システムの開発	大倉工業株式会社
津波対応型災害備蓄槽の開発	株式会社CNT
スキャン型紫外線殺菌装置の開発、商品化	山田鑄造鉄工株式会社

III 下請中小企業の振興のための事業

1 下請企業振興対策事業（県補他）

19,872 千円

受発注情報等収集提供事業	下請取引のあっせん 受発注取引を希望する登録企業の取引あっせんを行った。	302 件
	取引情報の収集提供 専門調査員等が登録企業を訪問し、受発注情報や企業情報等の収集・提供を行った。	306 件
	共同受注推進会議の開催 新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、開催を中止した。	—
下請かけこみ寺事業	（公財）全国中小企業振興機関協会の実施する「下請かけこみ寺事業」の地域拠点として、下請取引に関する様々な相談に対応した。（弁護士無料相談含む）	76 件
商談会等開催事業	広域商談会の開催 ① 四国4県合同で広域商談会を開催した。 ・「四国モノづくり合同商談会 2022 in KAGAWA（合同広域商談会）」 開催日時：令和4年11月18日 11時～17時 開催場所：サンメッセ香川大展示場（高松市） 参加者数：発注企業 51 社 県内受注企業 55 社（4県合計 135 社） ② 近畿・四国合同で広域商談会をオンライン・対面式併用のハイブリッド方式にて開催した。 ・「モノづくり受発注広域商談会」令和4年度は未開催 ・「令和4年度 関西・四国合同広域商談会」 開催日：①令和5年2月1～3日、6～8日 （オンライン商談会） ②令和5年2月16日～17日 （対面式商談会） 幹事県：京都府 参加者数：県内受注企業 6 社	2 回
	個別商談会の開催 ① 日東河川工業株式会社（香川県） ・開催日 令和5年1月20日、27日 ・参加者数 県内受注企業4社 ② キングパーツ株式会社（広島県） ・開催日 令和5年2月17日 ・参加者数 県内受注企業3社	2 回

商談会等開催事業	有力な展示商談会への共同出展支援 「第 27 回機械要素技術展」（東京ビッグサイト）に出展し、かがわ次世代ものづくり研究会会員である県内中小企業 8 社による香川県ブースを出展した。 ・開催日 令和 4 年 6 月 22 日～24 日 ・出展企業 8 社	1 回
	四国企業販路開拓マッチングプロジェクト 「第 25 回関西機械要素技術展」（インテックス大阪）に、県内のものづくり系企業を対象に香川県ブースを出展し、四国企業販路開拓マッチングプロジェクトとして P R を行った。 ・開催日 令和 4 年 10 月 5 日～7 日 ・出展企業 8 社	1 回
	水素関連見本市出展支援 「第 2 回国際二次電池展（BATTERY JAPAN）」（幕張メッセ）に出展し、県内のエネルギー関連分野企業を対象に香川県ブースとして集団展示を行った。 ・開催日 令和 4 年 8 月 31 日～9 月 2 日 ・出展企業 4 社	1 回

IV 創業支援、ベンチャー企業育成、産業の高度化、産学官共同研究の推進等のための 施設の管理・運営事業

1 頭脳化センター施設提供事業（県補他）

138,720 千円

香川産業頭脳化センタービルの貸室は、創業しようとする者や創業間もない者が入居できる「インキュベータールーム」及び地域産業の高度化に寄与すると認められる企業等が入居できる「リサーチルーム」からなっており、その入居については「香川産業頭脳化センタービル入居者選考委員会」において審議するなど、適切な運営に努めた。

名 称	貸 室 数	入 居 状 況
インキュベータールーム	36 室	6 室
リサーチルーム		29 室

※入居者によって「インキュベータールーム」、「リサーチルーム」の区分が変わる。

2 IT関連インキュベート施設管理運営事業（県補）

5,165 千円

ITを活用し新事業に取り組む起業者(ネットベンチャー)等を支援するため、高速通信回線が整備された部屋を低料金で利用できるインキュベート施設「ITスクエア」を香川県の補助を受けて運営した。

名 称	貸 室 数	入 居 状 況
ITスクエア	11 室	9 室

3 県有施設管理運営事業（県委）

76,435 千円

県内産業の振興を図ることを目的として企業等の技術の高度化や新分野進出を支援するためのインキュベート工房や電波暗室を設けた県有施設の「香川県新規産業創出支援センター（ネクスト香川）」及び先端技術産業分野の研究開発を産学官で行うための拠点施設「香川県科学技術研究センター（FROM香川）」について、県から指定管理者の指定を受け、管理運営を行った（指定期間は令和3年度から5年間）。

（1）ネクスト香川及びFROM香川入居条件等

・ネクスト香川

区 分	インキュベート工房（一般型）	インキュベート工房（情報通信型）
入 居 者	創業又は新事業の開拓を目的として新技術等の研究開発を行う者であって、その利用を開始する時点において、次のいずれかに該当する者 ①新たに事業を営もうとする者 ②新たに事業を営んだ日以後5年を経過していない者 ③事業の多角化、事業の転換等により新たな事業の分野へ進出しようとする者 ④産業振興に資するものとして知事が認める者	情報処理関連事業（※）を行う者で、以下のいずれかに該当する者 ・創業後5年以内または新事業へ進出しようとする者 ・県外から香川県内に新たに拠点を設けようとする者 （※）情報処理サービス業、ソフトウェア業、映像・音声・文字情報制作業、デザイン業及びインターネット附随サービス業
規 模	大（120～140 m ² クラス） 4 室 小（65 m ² クラス） 6 室	大（30 m ² クラス） 2 室 小（15 m ² クラス） 2 室
入居状況	大2室 小5室	大2室 小1室
利用料金	入居から5年まで 月額 1,560 円／m ² 入居から5年経過後 月額 1,870 円／m ²	月額 1,560 円／m ²
入居期間	3年間（最長5年まで延長が可能） ただし知事が別に定める事業の分野に属する場合等は、最長13年まで延長可能。 （特定事業分野：地域資源や伝統技術を活用した特長のある食品・バイオ関連分野、健康関連分野、先端技術や基盤技術を活用したものづくり分野、エネルギー・環境関連分野）	3年間（最長5年まで延長が可能）

・研究室等（FROM香川）

区 分	メカトロ研究室、バイオ研究室、一般研究室、産学官連携推進室
入 居 者	・産学官共同研究を行うグループで、産学官を2以上含み、うち1以上が県内で主たる研究開発を行うもの ・産学官共同研究のうち、基礎研究の成果を実用化に結びつけるための研究開発を行う企業 ・産学官連携推進事業を行う法人
規 模	メカトロ研究室 1 室 バイオ研究室 1 室 一般研究室 5 室（各室3分割可能） 産学官連携推進室
入居状況	メカトロ研究室 1 グループ バイオ研究室 1 グループ 一般研究室 10 グループ（15 室） 産学官連携推進室 1 グループ
利用料金	・産学官共同研究グループ 無料 ・実用化研究企業 月額 2,610 円／m² （月額 1,560 円／m²に減額される場合あり） ・産学官連携推進事業を行う法人 無料
入居期間	3 年間（最長 5 年まで延長が可能） ただし一定の要件に該当する場合は最長 10 年まで延長可能。

○ネクスト香川インキュベート工房（一般型）入居状況（10 室中 7 室入居）

部屋番号	入居企業名	事業概要	入居年月日
202	TASUKI-Int.	伝統工芸の技のコラボによる新製品開発と海外販売等	令和 3 年 7 月 2 日
204	(株)総合開発	水質・土壌浄化技術の研究開発	平成 29 年 7 月 1 日
205	(株)Soillook	赤外線カメラやドローンなどを応用したインフラ維持管理システムの開発	令和 2 年 1 月 1 日
301	自然免疫制御技術研究組合	動物実験による健康食品産業の支援	平成 29 年 2 月 1 日
302	メロディ・インターナショナル(株)	K-MIXと連携する胎児心拍計、遠隔医療システム、健康生活アプリの開発	平成 27 年 9 月 1 日
303			
304			

○ネクスト香川インキュベート工房（情報通信型）入居状況（４室中３室入居）

部屋番号	入居企業名	事業概要	入居年月日
20A	(株)ライトリンク	PC-PLC間インタフェースサーバ開発、 画像処理検査システムの開発	令和３年 ６月１日
20B	(株)アイテックス	介護事業所・保健指導実施機関・医療機関等 向けシステムの開発・販売・サポートなど	令和４年 ７月１８日
20D	エムケイディ合 同会社	医療・介護用等のためのアプリ・Webシス テム開発	令和２年 １１月１日

○FROM香川一般研究室等入居状況（19室中19室入居）

研究室名	研究グループ名 (研究代表/使用責任者)	研究テーマ	入居研究機関	入居年月日
メカトロ 研究室	マイクロ加工研究 グループ (香川大学 高尾英邦 /寺尾京平)	異分野融合型産 業にむけたマイ クロ・ナノデバイ スの研究	香川大学創造工学部、 静岡大学 香川高等専門学校 徳島大学 大阪府立大学 アオイ電子(株) (株)四国総合研究所 高松帝酸(株) 産業技術総合研究所	平成 30 年 10 月 1 日
バイオ 研究室	アルツハイマー病予 防LPS開発グループ (自然免疫制御技術 研究組合 杉源一郎/ 稲川裕之)	アルツハイマー 病等の予防・治療 に向けた LPS 創 薬の基盤構築と 高LPS農産物栽 培技術の開発	自然免疫制御技術研究 組合、 香川大学農学部、 長野県立大学、 九州大学大学院、 (特活)環瀬戸内自然免 疫ネットワーク 自然免疫応用技研(株) 東洋ライス(株)	平成 30 年 8 月 1 日
一 般 研究室 (1 a)	酵素反応阻害剤研究 グループ (香川大学 中北慎一 ／(株)伏見製薬所 住 吉渉)	糖鎖加工酵素の 反応阻害剤の開 発研究	香川大学医学部総合生 命科学講座 (株)伏見製薬所	平成 30 年 9 月 1 日
一 般 研究室 (1 b)				
一 般 研究室 (1 c)	AIロボット共同研 究グループ(株)未来 機械 三宅徹/森田和 郎)	AIを活用した ロバスト性の高 い自律制御ロボ ットの研究開発	香川大学創造工学部 香川高等専門学校 (株)未来機械	令和 3 年 7 月 1 日

一般研究室 (2 a)	オリーブ生産へのAI導入共同研究グループ ((一社)おいしさの科学研究所 山野善正/同上)	センシング及びAIによる高品質な香川県産オリーブの生産管理システムの開発	(一社)おいしさの科学研究所 香川大学農学部 (株)日進機械 瀬戸内オリーブ(株)	平成31年 4月1日
一般研究室 (2 b)				
一般研究室 (2 c)	脳梗塞予防ネットワークシステム企画開発グループ (香川大学 原量宏/同上)	心房細動(AF)スクリーニングシステムの研究開発	香川大学瀬戸内圏研究センター 香川大学医学部 香川大学医学部附属病院 NPO 法人 e-HCIK メロディ・インターナショナル(株)	令和元年 9月1日
一般研究室 (3 a)	糖鎖構造解析キット開発グループ (香川大学 中北慎一/ (株)伏見製薬所 住吉渉)	糖鎖構造解析キットの開発	香川大学医学部総合生命科学講座 (株)伏見製薬所	令和5年 3月1日
一般研究室 (3 b)				
一般研究室 (3 c)				
一般研究室 (4 a)	先進シミュレータ共同研究グループ (三咲デザイン合同会社 田島淳/香川大学創造工学部鈴木桂輔)	教育・研究用途の先進シミュレータの研究開発	三咲デザイン合同会社 香川大学創造工学部	平成30年 4月1日
一般研究室 (4 b)	自律型検査・メンテナンスロボット共同研究グループ (株)未来機械 三宅徹/同上)	2次元最適施肥量算出を目指したリアルタイム自動検査ロボットの研究開発	香川大学創造工学部 香川大学医学部 (株)未来機械	平成31年 4月1日
一般研究室 (4 c)				
一般研究室 (5 a)	海苔成分の生理機能開発共同研究グループ (有)シーバイオン 岡崎勝一郎/ (株)ハマダフードシステム 蓮井昌彦)	海苔成分の生理機能開発	香川大学農学部 (有)シーバイオン (株)ハマダフードシステム	令和3年 4月1日
一般研究室 (5 b)	天然物質によるウイルス制御共同研究グループ (香川大学 桑原知巳/小山一)	天然物由来抗ウイルス物質の探索とその実用化に向けた研究	香川大学医学部 富士産業(株) 和歌山県立医科大学看護学部	令和4年 4月1日

一 般 研究室 (5c)	COVID-19 等新興・ 再興感染症に関する 開発研究グループ (株)バキュロテクノ ロジーズ 馬嶋景/同 上)	COVID-19 等の 新興感染症やテ ング熱等の再興 感染症の対策と してカイコを用 いた遺伝子組換 えワクチンを開 発	(株)バキュロテクノ ロジーズ 山口大学農学部 (有)根路銘生物資源研究 所 岡山理科大学獣医学部	令和3年 4月1日
産学官連 携推進室 (応接室 を含む)	(公財)かがわ産業支 援財団(理事長 近藤 清志/技術振興部長 窪田健康)	研究開発支援及 び産学官連携推 進にかかる事業 推進	—	平成24年 4月1日

(2) FROM香川共同機器室及びバイオ関連共同実験室

利用状況

- ・共同機器室：72 件
- ・バイオ関連共同実験室：3 件

(3) ネクスト香川EMC総合試験施設管理運営

EMC総合試験施設使用状況 稼働率：96.9%

区 分	利用企業数	利用時間（実日数）	
		大型電波暗室	小型電波暗室
県内企業	8 社	154 時間（24 日）	812 時間（108 日）
県外企業	17 社	916 時間（140 日）	295 時間（42 日）
合 計	25 社	1,070 時間（165 日）	1,107 時間（150 日）

(4) かがわEMC技術研究会事業

区 分	内 容 等
EMC研究会	会場及びオンラインのハイブリッド開催 ○開催日時 令和4年7月15日 13時30分～16時20分 ○会 場 香川県産業技術センター 本館3階 研修室 ○テーマ等 ・講演「電子機器からの電磁界放射をモデル化する」 岡山大学名誉教授 古賀 隆治 氏（かがわEMC技術研究会会長） ・講演「低周波EMCエミッション規格の解説」 (株)エヌエフ回路設計ブロック 佐藤 公治 氏 ・講演「車両および車載機器のEMC規格の最新動向」 菊水電子工業(株) 野尻 操 氏 ○参加者数（会員他） 47名（会場参加22名、オンライン参加25名）
EMC講習会	会場及びオンラインのハイブリッド開催 ○開催日時 令和4年11月28日 13時30分～16時10分 ○会 場 香川産業頭脳化センタービル 2階 一般研修室 ○テーマ等 ・講演「電気回路理論では理解できないEMIの発生」 岡山大学名誉教授 古賀 隆治 氏（かがわEMC技術研究会会長） ・講演「実戦的EMC対策手法」 日本オートマテック・コントロール(株) 瀬戸 信二 氏 ○参加者数（会員他） 78名（会場参加22名、オンライン参加56名）

V 新かがわ中小企業応援基金等を活用した新産業の創出、地域産業の革新等のための支援事業

新かがわ中小企業応援ファンド等事業

110,692 千円

(独)中小企業基盤整備機構、香川県、金融機関及び当財団が資金を拠出した総額 118.5 億円の「新かがわ中小企業応援ファンド」などを利用して、県内中小企業等の新事業展開や研究開発、販路開拓、人材育成等の取組みを支援した。

1 助成事業の状況

(1) 令和4年度助成事業の募集期間

令和3年11月12日～令和4年1月27日

(2) 事業件数

継 続 【11 件、助成額 19,406 千円】

新規採択 【62 件（うち廃止5件）、助成額 46,738 千円】

区 分	継続	令和4年度新規	
		申請件数	採択件数
① 新分野等チャレンジ支援事業	6	19	15 (うち廃止1件)
② 競争力強化研究開発支援事業	3	12	9 (うち廃止1件)
③ ものづくり生産性向上・スキルアップ支援事業	—	2	2
④ 創業ベンチャー支援事業 (かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ枠1件含む)	1	4	2 (うち廃止1件)
⑤ 農商工連携支援事業	1	3	3
⑥ with コロナ対応支援事業（商品・技術開発枠）	—	5	5 (うち廃止1件)
⑦ with コロナ対応支援事業（販路開拓枠）	—	21	18
⑧ 地域資源ブランド化・販路拡大支援事業	—	16	8 (うち廃止1件)
合計	11	82	62 (うち廃止5件)

(3) 助成事業の詳細

① 新分野等チャレンジ支援事業

県内中小企業等が取り組む新分野進出のための商品・技術開発や、市場性を見極めるための試作品作成、付加価値の高い新製品開発のための実証実験などに対して支援を行った。

ア 継続 【6 件、助成額 4,721 千円】

テーマ	事業者
香川県から広がる地域の強みを活かした新しいものづくり事業	(株)オーキッド
ゴム系素材を使用した蛸壺の開発	(有)小見山水産
ひまわり油等を活用したオリジナルチョコレートの商品開発	(株)サニーサイド
自動搬送冷凍設備の開発	(株)XEN GROUP (旧 (株)タカハタ)

にがりを使った化粧品及びボディケア商品等の商品開発	仁尾興産(株)
水圧昇降式特殊入浴装置【ハートフル“ プルミエ ”温泉仕様】の開発	(株)ヤエス

イ 新規採択 【15 件、助成額 4,855 千円】

テーマ	事業者
庵治石を再活用したアーティスティック香炉の開発	(株)一
日本初、純国産シーアスパラガス（アッケシソウ）の通年栽培システムの開発	セトラスホールディングス(株) (旧 協和化学工業(株))
マグネットを使った高気密玄関引き戸の開発	(有)シティング
歩行安定のための機能性ホルダーの改良・開発	徳武産業(株)
しぼりたて醤油を楽しむ 樽型もろみ絞りセット製作	丸島醤油(株)
香川県の逸品かしわバター 製品開発	(株)まんでがん
e スポーツ市場進出の為の新商品開発	(株)レガン
全粒粉うどん（小麦フスマ由来のアラビノキシラン）機能性表示食品としての取組み	石丸製麺(株)
食の持続可能なサプライチェーンを創造する為の、次世代型養殖技術の閉鎖循環式陸上システムユニットの実証実験及び成果検証	(株)FGROW
生産者や作物の暑さ対策のため、既存パイプハウスに設置する天窗の取付け手法の確立	(株)グッドワーク (廃止)
機能性食品表示を有するマカロンの開発	(株)スミダ・リ・オリジン
オリーブの剪定枝葉を活用した紙製卵パックの開発	瀬戸内オリーブ園(株)
和田邦坊デザイン×伝統工芸のリバイバルプロダクト開発	(株)tao.
法律事務所向けクラウド事件カルテ クラウドバランス ～事務所内のコミュニケーションストレスをなくす～	(株)FISTBUMP
機能性表示食品（GABA 入り塩ゆで黒豆）の開発	丸金食品(株)

② 競争力強化研究開発支援事業

独創的な研究開発や、特許権等を活用した付加価値の高い新製品・新技術の開発等に対して支援を行った。

ア 継続 【3件、助成額 12,608 千円】

テーマ	事業者
溶接検査に特化した新構造 3D カメラの開発	(株)シーマイクロ
次世代低分子抗体医薬の生産性向上に貢献する抗体結合タンパク質の開発	プロテノバ(株)
不眠に悩む全ての人を救う、安心安全快適な睡眠環境を作る商品の試作品制作・研究プロジェクト	(株)モーリス

イ 新規採択 【9件（うち1件廃止）、助成額 16,978 千円】

テーマ	事業者
義肢装具業界向け「見える化装具製作予定システム」の研究開発	ケイ・タス(株)
建設現場用量産型重量物運搬ロボットの開発	建ロボテック(株)
食品熱交換装置 (X-Charge unit:XCU) の大型化及び連結仕様の開発	(株)XEN GROUP
建設現場用耐圧安全手袋の開発	(株)ダイコープロダクト
農業分野向け IoT ソリューション（農業環境監視システム）の開発	(株)DynaxT
協働ロボットを活用した、可搬式筐体溶接システムの開発	奈良電機重工業(株)
アトピー性皮膚炎に伴う皮膚の外観変化を改善する成分の開発	(株)伏見製薬所
使い捨て容器の概念を変えた機能・強度を有する容器の開発	松浦産業(株)
草木残渣等用のバイオコークス量産製造システムの開発	(株)レクザム（廃止）

③ ものづくり生産性向上・スキルアップ支援事業

県内中小企業等が製造現場におけるコスト削減等を目的に行う、専門コンサルタントを活用した製造現場の改善事業や、県内中小企業等が実施する人材育成研修事業に対して支援を行った。

新規採択 【2件、助成額 1,634 千円】

テーマ	事業者
HACCP 認定取得から管理体制の構築による企業価値の拡大と利益率向上	(株)開洋
オーガニック認証スティック充填加工受託工場の安全・安心な製品・サービスを提供できる仕組みの確立	柿茶本舗(有)

④ 創業ベンチャー支援事業

【創業ベンチャー】

新規創業者や創業間もない県内中小企業等が行う、新規性、独創性のある事業等に対して支援を行った。

ア 継続 【1件、助成額 500 千円】

テーマ	事業者
高松産クラフトビールの製造・販売	(同) 白雀

イ 新規採択 【1件】

テーマ	事業者
認知症当事者と介護家族の「はたらく支援」と「居場所づくり」	藤村 拓（廃止）

【かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ 2021 最優秀賞認定事業】

創造的な技術や商品、サービスなどを自ら新規に開発し、新たな顧客や付加価値を創造しようとする、独創的なビジネスプランを支援するために実施する「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ」最優秀賞受賞者の事業に対して支援を行った。

新規採択 【1件、助成額 1,833 千円】

テーマ	事業者
健康産業向けエビデンスビジネスの確立	(一社) 香川県運動推進協会

⑤ 農商工連携支援事業

県内中小企業等が農林漁業者と連携し、互いの経営資源や先端技術等を活用して行う新商品・新サービスの開発等に対して支援を行った。

ア 継続 【1件、助成額 1,577 千円】

テーマ	事業者
ガーリックオリーブオイル製造時の副産物を活用した商品開発と販路開拓	宝食品(株)

イ 新規採択 【3件、助成額 647 千円】

テーマ	事業者
県産木「100%メイドイン讃岐プロジェクト」の実証	香川県家具商工業協同組合
県産大豆等を使用したハンバーグ等加工品の開発と販路開拓	(有)黒川加工食品
「はざまいちじく」の葉っぱ加工商品開発と販路拡大	(株)TKG アグリ

⑥ with コロナ対応支援事業（商品・技術開発枠）

コロナによる経済社会情勢の変化に対応し、SDGs の達成や DX の推進に向けて取り組む新製品・新技術の開発又はデジタル技術を活用した新たなビジネスの創造等の成果が期待できる事業に支援を行った。

新規採択 【5 件（うち廃止 1 件）、助成額 5,639 千円】

テーマ	事業者
ドライ方式による有用金属の回収システムの実証試験	四国アセチレン工業(株)
掲示板型マッチングサイト構築による遊休不動産活用促進スキームの開発	(株)フケプロダクト (廃止)
RFID の自動認識技術を利用した物流 DX の推進	(株)FUJIDAN
食品加工業の弊社が SDGs 宣言で社会に貢献できること	(株)八栗
害獣の皮を活用した継続的なビジネスモデルの構築と SDGs の取り組みを実施する	(株)レガン

⑦ with コロナ対応支援事業（販路開拓枠）

EC サイトやオンライン商談に対応したシステム等の構築や改良又は Web 展示会出展等による販路開拓に対して支援を行った。

新規採択 【18 件、助成額 6,250 千円】

テーマ	事業者
2022NEW 環境展	(株)エコマスター
香川県の観光とウエディングを繋ぐサイトづくり	(株)etowa
第 6 回 “日本の食品” 輸出 EXPO	鎌田醤油(株)
EC サイト出店に係るオリジナルホームページ作成	(同)SEEKER JAPAN
赤外線カメラによるガス可視化検査サービス販路開拓事業	(株)Soilook
【日本の食品】輸出 EXP02022 に出展	宝食品(株)
展示会「バリアフリー2022」への出展事業	日本メディカル(株)
Web による東南アジア BtoB 販路開拓事業	(有)ファイエット
「ふつうの段ボールは売らない EC ショップ」の新規構築	(株)FUJIDAN
取扱商品「INFUSION」の EC サイト構築及びオンライン販売促進事業	Portier
HP 改良によるペット用商品を始めとした with コロナ販路拡大事業	山地蒲鉾(株)
動画広告を活用した宿泊施設の新規顧客獲得事業	(有)INAKA TOURISM
新製品『防水扉』含む災害対策製品の展示会出展	四国プランニング(株)
緑十字展 2022 出展	(株)ジョーソンドキュメンツ

USA Amazon における木桶醤油のブランドページ展開事業	タケサン(株)
第 49 回 国際福祉機器展 H.C.R2022 に出展	徳武産業(株)
『チルな家を活用した民泊事業』専用サイトの構築	(有)長瀬工務店
Web 広告と DM 配信による新規顧客獲得	(株)FISTBUMP

⑧ 地域資源販路拡大支援事業

【地域資源ブランド化・販路拡大支援事業】

地域の資源を活用した商品の開発、デザイン開発等によるブランド力の強化、戦略的な情報発信等による販路拡大のための実効性のある取組みに対して支援を行った。

新規採択 【8 件（うち 1 件廃止）、助成額 8,902 千円】

テーマ	事業者
ブランド化推進による地場産業活性化事業	(株)蒼島
業界初オリーブ乳酸菌獲得とおいで米を使用した醗酵プリン製造	アットハンド(株)
魚骨由来アパタイトを原料とした重金属吸着資材の用途開発に関する研究	(株)アムロン
香川県県産桧材拡販を目的とする JAS 認定材生産体制の構築	(有)かがわ木材加工センター
香川県産ヒノキ材の長寿命化処理パイロットプラントの設置	讃岐化成(株)
クラフトビールで王越まるっとブランド化	日本農産(株)（廃止）
自社生産の桑の実を活用した健康食品の開発・製造・販売	松熊工業(株)
香川県産オリーブ葉を使用した商品開発とブランド強化事業	三豊オリーブ(株)

2 産業支援機関事業（財団直営事業を含む。）の状況

① 高度産業人材育成事業

分野	実施講座数	受講者数（延べ）
次世代ものづくり技術研修	3	12 名
I T技術研修	2	13 名
I T研修	10	99 名

② 地域企業国内販路開拓支援事業

事業名	実績	件数等
発注開拓支援事業	大手企業出身者（経営支援NPOクラブ会員）の人脈及び経験を活用し、発注案件の発掘や情報収集を行った。 ・発注案件の探索及び紹介件数 15 件 ・窓口の紹介や商談機会の創出件数 40 件 ・展示商談会の開催支援件数 2 件	57 件
かがわものづくり新技術展示商談会開催事業	県内中小企業等が有する優れたものづくり技術・製品等を PR するため、県外大手メーカーに対して一堂に展示し、商談会を通じて県内中小企業等の新規取引先の開拓と受注機会の拡大を図った。 【コマツ（株）小松製作所 粟津工場展示商談会】 ・開催日時 令和4年 11 月 8 日 10 時～16 時 11 月 9 日 10 時～14 時 ・開催場所 コマツ（株式会社小松製作所）粟津工場 ICT センタ（石川県小松市符津町ツ 23） ・参加者数 県内企業 15 社＋香川高等専門学校詫間キャンパス ・来場者数 245 名 ・商談件数 528 件	1 回
食品商談会開催事業	【食品商談会】 大都市圏等県外の食品関連バイヤー、及び県内の食品関連バイヤーを招聘し、県内食品事業者との商談会を開催した。 ・開催日 令和4年 11 月 1 日 ・開催場所 JR ホテルクレメント高松 ・招聘バイヤー 47 社【百貨店、総合スーパー他】 ・参加企業 72 社 ・商談件数 415 件、商談成立 42 件 ・商談成約見込 77 件 ・商談継続 253 件	1 回
国内食品見本市出展事業	【スーパーマーケット・トレードショー】 香川県食品産業の魅力を発信するとともに、県内食品関連企業の販路開拓を支援するため、国内最大級の食品関連見本市である「スーパーマーケット・トレードショー2023」に、香川県ブース(19 小間)を出展した。 ・開催日 令和5年 2 月 15 日～17 日 ・開催場所 幕張メッセ全館 ・出展者数 県内 33 者（32 社及び 1 グループ）	1 回

③ 地域企業海外販路開拓支援事業

事業名	内 容	件 数 等
国際取引支援事業	【国際取引相談】 国際取引支援アドバイザーを配置し、相談会の開催等により、県内企業等の国際取引相談に対応するとともに、課題・ニーズの把握を行った。 【国際取引支援セミナー】 海外展開を行っている県内企業等を対象に、物流に着目したセミナーを、会場と Web のハイブリッド方式で開催した。 ・開催日時 令和5年2月10日 14時00分～16時00分 ・開催場所 (一般会場) 香川産業頭脳化センタービル 2階一般研修室 定員 20 名 (配 信) Zoom (ウェビナー) 定員 100 名 ・主 催 (公財)かがわ産業支援財団、高松港コンテナターミナル振興協議会(香川県交通政策課) ・共 催 (独) 日本貿易振興機構 香川貿易情報センター、(独) 中小企業基盤整備機構 四国本部 ・開催内容 ①データで見る香川県の輸出入動向 ②どうやって探す? 自社にあった物流網 ③国外生産の実態は…～海上物流を利用して～ ・講 師 ①独立行政法人 日本貿易振興機構 香川貿易情報センター 所長代理 大嶋 健太郎 氏 ②中小企業基盤整備機構 四国本部 中小企業アドバイザー (国際化・販路開拓) 木下 寛子 氏 ③ウインセス株式会社 代表取締役 橋本 勝之氏 ・受講者数 69 名 (会場 15 名、配信 54 名)	国際取引支援 アドバイザー 2 名配置 個別相談 12 件
「かがわ海外ビジネス支援総合サイト」の運営	財団 HP 内に開設している海外ビジネス専用サイトを活用し、各支援機関の海外ビジネス支援に関する情報を一元化して発信することにより、県内企業等の海外展開の支援を行った。 【主な内容】 新着情報、財団事業、香川県上海ビジネス展開支援事業、海外ビジネス情報、中国 NAVI 他	—

④ 地域資源販路拡大支援事業

事業名	内 容															
かがわ魅力発見事業	香川県の地域資源の認知度向上と販路拡大を図るため、首都圏で、本県を代表するオリーブ等の商品について、食品見本市への出展を支援するとともに、地域資源を活用した商品等のブランド力強化を図るため、クリエイターと県内事業者のマッチングを行い、新商品の開発や既存商品のブラッシュアップの支援等を行った。 【地域資源活用型食品見本市出展事業】 香川県の産品をリードする地域の資源であるオリーブや希少糖に特化し、「スーパーマーケット・トレードショー2023」への出展支援（参加企業2社）を行った。 ・開催日時 令和5年2月15日～17日 ・開催場所 幕張メッセ全館 【芸術の街かがわ×地域の資源 新商品・ブランド開発プロジェクト】 地域の資源の魅力をさらに引き出せるよう、商品開発の実績のあるクリエイター5名と県内事業者8者のマッチングを行い、新商品開発等のコンセプト策定を実施しているところである（令和4年度～5年度の2年に亘り実施）。 ・マッチング結果 <table border="1"> <thead> <tr> <th>クリエイター</th><th>マッチング事業者</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吉岡 奈緒美</td><td>田渕石材株式会社</td></tr> <tr> <td>林 雄三</td><td>ウインセス株式会社</td></tr> <tr> <td>松田 泰典</td><td>株式会社太洋木材市場</td></tr> <tr> <td>松原 篤</td><td>株式会社バック三樹</td></tr> <tr> <td rowspan="4">得丸 成人</td><td>四国繊維販売株式会社</td></tr> <tr> <td>株式会社ダイコープロダクト</td></tr> <tr> <td>株式会社川口屋漆器店</td></tr> <tr> <td>平田商店</td></tr> </tbody> </table>	クリエイター	マッチング事業者	吉岡 奈緒美	田渕石材株式会社	林 雄三	ウインセス株式会社	松田 泰典	株式会社太洋木材市場	松原 篤	株式会社バック三樹	得丸 成人	四国繊維販売株式会社	株式会社ダイコープロダクト	株式会社川口屋漆器店	平田商店
クリエイター	マッチング事業者															
吉岡 奈緒美	田渕石材株式会社															
林 雄三	ウインセス株式会社															
松田 泰典	株式会社太洋木材市場															
松原 篤	株式会社バック三樹															
得丸 成人	四国繊維販売株式会社															
	株式会社ダイコープロダクト															
	株式会社川口屋漆器店															
	平田商店															
地域資源コーディネート事業	コーディネーターを2名配置し、新かがわ中小企業応援ファンド等事業（地域資源ブランド化・販路拡大支援事業）等の幅広い利用促進、シーズの発掘等を行った。															

⑤ 新規発掘・事業化コーディネート事業

専任コーディネーター等を配置し、積極的な中小企業回りを通じて、新たなシーズの発掘や事業化の支援、事業終了後のフォローアップ、成果検証等を行った。

⑥ 成果事例集

新かがわ中小企業応援ファンド等事業を活用した数多くの事例の中から、優れた成果を挙げた、又は今後の成果が期待される事例を支援メニューごとに広く紹介し、県内中小企業者等の今後の事業展開の参考としてもらうため成果事例集を作成した。

発行時期：令和4年12月

発行部数：3,000部

配布先：香川県、県内市町、商工会議所、商工会、中小企業団体中央会、金融機関など

収益事業

1 産業会館事務室提供事業

2,616 千円

産業会館 5 階に所有するスペースを、公益社団法人香川県シルバー人材センター連合会及び一般財団法人消防試験研究センター香川県支部に対し、賃貸した。

その他の事業（相互扶助等事業）

1 異業種交流事業

2,946 千円

(1) かがわ産業振興クラブ運営事業

知事との意見交換会や、セミナー、見学会を開催するとともに、機関誌やメールマガジン等により産業情報の提供を行った。

事業内容	開催日	参加者数
見学会	令和 4 年 10 月 20 日	20 名
セミナー（オンライン配信あり）	令和 4 年 11 月 15 日	85 名 ※オンライン視聴 33 名を含む
知事との意見交換会	令和 5 年 1 月 30 日	45 名

(2) 異業種交流等への支援

各種団体の事務局として当該団体の活動を支援した。

団体名	団体概要	活動内容
香川マルチメディア ビジネスフォーラム (会員数 27)	I Tを活用した経営の向上や新たな ビジネスの創出を図るとともに、会 員企業の交流を促進し、本県産業の 振興に寄与することを目的として設 立された団体	○総会・特別講演会・交流会 ○セミナー ○先進企業等視察研修会 ○自主活動 ○会員間の情報交換 等
香川県デザイン協会 (会員数 66)	県内におけるデザイン振興の中核と して、優れたデザインが生み出され る環境づくりや、産業界等との連携 による産業及び地域文化の発展を図 るため、県内デザイナー等により設 立された団体	○理事会・総会 ○学生表彰 ○瀬戸内デザイングランプリ ○四国デザインフェュージョン ○フリーマーケット 等
さぬきプラザ 21 (会員数 17)	技術・市場関連の問題等に関する意 見・情報の交換により、会員企業の技 術及び経営力の向上を図るため、県 内企業等で構成された異業種交流の 団体	○総会・交流会 ○講演会 ○先進企業等視察研修会 ○会員間の情報交換 等
かがわプラザ 2004 (会員数 34)		
J S 研究会 (会員数 34)	県内企業等の自立化推進や人材育 成・経営基盤の強化等を研究するた め、県内のものづくり系企業で組織 された団体	○総会・交流会 ○講演会 ○人材育成研修 等
香川インテリジェン トパーク交流推進協 議会 (会員数 37)	香川インテリジェントパーク (K I P) に立地する企業等の理解、交流及 び情報交換を推進し、相互の技術、経 営及び学術、文化の向上を図るため に設立された団体	○総会 ○会員間の情報交換 ○香川インテリジェントパー クの一斉清掃 ○献血 等

2 香川県発明協会事務運営事業

1,012 千円

一般社団法人香川県発明協会の事務運営業務を受託した。

法人会計

1 一般管理運営事業

93,037 千円

財団運営の全般的管理を行うとともに、理事会及び評議員会の開催、基金等運用収入の確保等により財団事業の円滑実施に努めた。

[評議員会の開催状況]

回次	開催年月日	開催場所等	主要議題
第 48 回 評議員会	令和 4 年 4 月 15 日	持ち回り	1 「評議員の選任について」
第 49 回 評議員会	令和 4 年 6 月 27 日	高松国際ホテル	1 「定款の変更について」
第 50 回 評議員会	令和 4 年 7 月 11 日	持ち回り	1 「評議員の選任について」 2 「理事の選任について」 3 「監事の選任について」

[理事会の開催状況]

回次	開催年月日	開催場所等	主要議題
第 113 回 理事会	令和 4 年 4 月 1 日	持ち回り	1 「理事長（代表理事）辞任に伴う後任理事長（代表理事）選定の件」 2 「常勤理事の報酬について」
第 114 回 理事会	令和 4 年 6 月 3 日	香川県新規産業創 出支援センター 3 階 大会議室	1 「令和 3 年度事業報告及び収支決算について」 2 「令和 3 年度資金運用実績について」 3 「評議員会の招集について」
第 115 回 理事会	令和 5 年 2 月 28 日	香川産業頭脳化 センタービル 2 階 一般研修室	1 「令和 4 年度収支補正予算について」 2 「令和 5 年度資金運用計画について」 3 「令和 5 年度事業計画及び収支予算について」 4 「科学技術振興基金の一部取崩について」 5 「組織規程の一部改正について」 6 「常勤理事の報酬について」